

日本歴史の最重要事項

<政治史関連最重要人物>

- ・**厩戸皇子**: 聖徳太子のこと。593年推古天皇の摂政となり、冠位十二階や憲法十七条の制定、小野妹子を遣隋使として派遣するなどを行った。仏教を奨励して四天王寺や法隆寺を建て、經典注釈書『三経義疏』を著した。
- ・**天武天皇**: 飛鳥時代の天皇。天智天皇の弟。672年壬申の乱で甥の大友皇子と皇位を争って勝利し、翌年即位。八色の姓を定めるなど、天皇を中心とする皇親政治を推進した。
- ・**聖武天皇**: 奈良時代の天皇。皇后は光明子。深く仏教を信じ、全国に国分寺を建立し、東大寺の大仏を造立した。数多くの遺品が東大寺正倉院宝庫に納められている。
- ・**藤原道長**: 後一条・後朱雀・後冷泉の外戚。1017年太政大臣となり、その子頼通とともに藤原氏の全盛期を現出した。
- ・**源頼朝**: 鎌倉幕府初代将軍。1185年に壇の浦の戦いで平氏を滅亡させた。同年、守護・地頭を設置して封建制度を確立。1192年征夷大将軍となり鎌倉に幕府を開いた。
- ・**後鳥羽上皇**: 鎌倉幕府に対抗して1221年承久の乱を起こすが敗れ、隠岐に流された。歌人としては優れ『新古今和歌集』を編纂させた(1205年藤原定家ら撰進)。
- ・**北条泰時**: 鎌倉幕府3代執権。承久の乱で功を立て、初代六波羅探題となった。執権就任後、連署・評定衆を置いて合議制を制度化し、1232年には貞永式目[御成敗式目]を制定して執権政治の確立に努めた。
- ・**北条時宗**: 鎌倉幕府8代執権。文永の役・弘安の役では元軍の撃退に成功。禅宗に深く帰依し、蘭溪道隆の没後、宋より無学祖元を招いて建長寺の住持とし、のち円覚寺の開山とした。
- ・**足利義満**: 室町幕府3代将軍。京都室町に将軍邸宅「花の御所」を造営。1392年には南北朝の合一を実現した。北山に金閣を建て、北山文化を現出。15世紀初頭明と国交を開き、日明貿易[勘合貿易]を行った。
- ・**足利義政**: 室町幕府8代将軍。1467年家督相続の争いなどから応仁の乱が起こると、将軍職を子の義尚に譲り、自らは東山に銀閣を建て、侘茶、水墨画など芸術三昧の隠居生活を送った。
- ・**織田信長**: 安土桃山時代の武将。桶狭間の戦いに勝利して勢力を拡大、1573年義昭を京都から追放し、室町幕府は滅亡した。1582年本能寺の変で明智光秀に滅ぼされた。
- ・**豊臣秀吉**: 安土桃山時代の武将。織田信長に仕え、信長の死後、1590年全国統一を達成。太閤検地によって近世封建社会の基礎を築き、刀狩によって兵農分離を徹底した。晩年、2度の朝鮮出兵を行ったが失敗した。
- ・**徳川家康**: 江戸幕府初代将軍。1600年の関ヶ原の戦いで石田三成の西軍を破り天下の実権を握る。1603年征夷大将軍となり江戸幕府を開いた。1615年の大坂夏の陣で豊臣氏を滅ぼし、江戸幕府260年の基礎を固めた。
- ・**徳川吉宗**: 江戸幕府8代将軍。享保の改革を行い、定免法の採用、町火消の創設、目安箱の設置、上げ米の制、相对済し令、新田開発、公事方御定書の制定など、財政再建・幕政改革に努めた。

- ・**西郷隆盛**: 薩摩藩の下級武士として尊攘運動に活躍し、1866年薩長同盟を締結。戊辰戦争の参謀。1871年廃藩置県に尽力、征韓論に敗れ下野。1877年、薩摩の士族にかつがれて西南戦争を起こしたが、敗れて自刃した。
- ・**小村寿太郎**: 明治時代の外交官。日露戦争(1904~05)後のポーツマス会議では、第1次桂内閣のもと日本全権として講和条約を締結した。1911年には第2次桂内閣の外相として、関税自主権の完全回復に成功した。
- ・**原敬**: 1918年米騒動のため寺内正毅内閣が倒れると、その後を受けてわが国最初の本格的政党内閣を組織。「平民宰相」として国民に歓迎された。
- ・**加藤高明**: 憲政会党主。第2次護憲運動の後に、1925年「普通選挙法」とともに「治安維持法」を公布した。

<文化史関連重要人物>

【僧侶】

- ・**最澄**: 平安初期の僧。天台宗の開祖。比叡山に延暦寺を建立。山家学生式を定め、大乘戒壇の設置を訴えた。
- ・**空海**: 平安初期の僧。真言宗の開祖。高野山に金剛峯寺を建立。綜芸種智院を京都に開設した。三筆のひとり。
- ・**源信**: 平安中期の僧。「恵心僧都」とも。比叡山に学ぶ。著書『往生要集』によって日本浄土教の祖とされる。
- ・**法然**: 平安後期～鎌倉初期の僧。浄土宗の開祖。専修念仏による往生を説いた。主著『選択本願念仏集』。
- ・**栄西**: 平安後期～鎌倉初期の禅僧。臨済宗(禅宗)の祖。京都に建仁寺を建立。著書『興禅護国論』『喫茶養生記』。
- ・**親鸞**: 鎌倉時代の僧。浄土真宗の開祖。師は法然。主著『教行信証』。『歎異抄』は弟子唯円の編による法話集。
- ・**道元**: 鎌倉時代の禅僧。曹洞宗(禅宗)の開祖。越前に永平寺を建立。「只管打坐」を唱え、著書に『正法眼蔵』がある。
- ・**日蓮**: 鎌倉時代の僧。仏法の真髄は法華経にあると悟り、日蓮宗(法華宗)を開いた。主著『立正安国論』。
- ・**一遍**: 鎌倉時代の僧。時宗の開祖。踊念仏により時宗の普及に努めた。『一遍上人語録』は法話集。
- ・**夢窓疎石**: 鎌倉末期・南北朝時代の禅僧。後醍醐天皇、足利尊氏の帰依を得た。西芳寺、天竜寺の庭園をつくる。

【芸術家】

- ・**鞍作鳥[止利仏師]**: 飛鳥時代の仏師。代表作は飛鳥寺「釈迦如来像」[飛鳥大仏]、法隆寺金堂「釈迦三尊像」。
- ・**紀貫之**: 平安初期の貴族・歌人。醍醐天皇勅撰の『古今和歌集』の撰者の一人。著作に『土佐日記』がある。
- ・**定朝**: 平安中期の仏師。大量生産の可能な寄木造の手法を確立した。代表作は平等院鳳凰堂

「阿弥陀如来像」。

- ・**運慶**:鎌倉時代の仏師。剛健な写実主義が特徴。代表作は快慶との合作による東大寺南大門「金剛力士像」。
- ・**世阿弥**:室町初期の能の大成者。父・観阿弥とともに足利義満の保護を受ける。『風姿花伝[花伝書]』を著す。
- ・**雪舟**:室町後期の画僧。日本の水墨画を完成させた。代表作は「四季山水図巻[山水長巻]」「秋冬山水図」。
- ・**狩野永徳**:安土桃山時代の画家。信長・秀吉に仕え、豪壮な障壁画を描いた。代表作に「唐獅子図屏風」。
- ・**松尾芭蕉**:江戸前期の俳人。蕉風俳諧を確立。東北地方を旅し、多くの紀行文を残した。代表作『奥の細道』。
- ・**井原西鶴**:浮世草子作者。代表作は『好色一代男』(好色物)、『日本永代蔵』『世間胸算用』(町人物)
- ・**菱川師宣**:江戸前期の浮世絵師。浮世絵の祖とされる。代表作に「見返り美人」がある。
- ・**尾形光琳**:江戸中期の画家。俵屋宗達の画風の影響を強く受ける。代表作「紅白梅図屏風」「燕子花図屏風」。

【学者・文人】

- ・**阿倍仲麻呂**:奈良初期留学生として入唐。帰国途上で暴風雨に遭い、帰国を断念。唐に留まり玄宗皇帝に仕えた。
- ・**菅原道真**:平安前期の公卿・学者。894年遣唐使の廃止を建議し認められた。のち、讒言により大宰府に左遷。
- ・**新井白石**:江戸中期の儒者・政治家。6・7代将軍の下で「正徳の治」を行う。著書に『読史余論』『西洋紀聞』など。
- ・**荻生徂徠**:江戸中期の儒者。古文辞学(古学一派)の祖。江戸に・園塾を開く。著書は『政談』など。
- ・**前野良沢**:江戸中期の蘭医。蘭語の解剖書『ターヘル・アナトミア』を杉田玄白らと共に翻訳、『解体新書』として刊行。
- ・**杉田玄白**:江戸中期の蘭医。『ターヘル・アナトミア』翻訳の苦勞を記した『蘭学事始』はつとに知られる。
- ・**本居宣長**:江戸中期の国学者。『古事記伝』などを著し、儒教・仏教を排して「もののあはれ」・「古道」を賞揚した。
- ・**高野長英**:江戸後期の蘭学者。長崎でシーボルトに学ぶ。1839年「蛮社の獄」で渡辺崋山らとともに弾圧される。
- ・**吉田松陰**:1854年ペリー来航の際海外密航を企て幽閉。松下村塾から優秀な人材を輩出するも、安政の大獄で斬首。
- ・**吉野作造**:明治・大正の政治学者。彼が提唱した「民本主義」は大正デモクラシーの理論的支柱となった。

<日本に関係の深い外国人> (過去3回以上出題されたもの)

- ・鑑真:唐の僧。日本の律宗の祖。8世紀中頃に来朝、東大寺に戒壇を設け聖武上皇以下に授戒。唐招提寺を創建。
- ・ザビエル:1549年鹿児島に来日。のち平戸、山口で伝道し、日本で最初のキリスト教(カトリック)伝道者となる。
- ・フロイス:16世紀半ばにイエズス会宣教師として来日。信長、秀吉と親交を深める。名著『日本史』を残した。
- ・シーボルト:19世紀前期に来日、長崎郊外に鳴滝塾を開き医学などを教える。1828年シーボルト事件により国外追放。
- ・ペリー:1853年黒船4隻を率いて浦賀に来航し開国を要求。1854年日米和親条約の締結に成功する。
- ・ハリス:初代駐日米総領事として下田に着任。1858年日米修好通商条約の締結に成功する。
- ・モース:明治初期に来日、動物学を講じた。大森貝塚を発掘し日本の考古学の祖となる。著書『日本その日その日』。
- ・フェノロサ:明治初期に来日、日本の伝統美術の復興に尽力し、岡倉天心とともに東京美術学校を創立した。
- ・ラフカディオ・ハーン:明治中期に来日、帰化して小泉八雲となる。著書に『怪談』『神国日本』『人生と文学』など。
- ・ヘボン:アメリカ人宣教師。1859年来日。ヘボン式ローマ字を考案し、「英和学院」(現明治学院大学)を開いた。

<その他の重要事項(1)> (写真問題に出題される可能性のあるもの)

画像は、ネットの画像検索で簡単に見ることができるので、各自、確認しておくこと。できれば、下記のように印刷しておくとい。

- ・富嶽三十六景(葛飾北斎)



- ・東海道五十三次(歌川広重)



- ・龍虎図(橋本雅邦)



- ・東大寺南大門金剛力士像
- ・鳥獸戯画(鳥羽僧正)
- ・中尊寺金色堂(藤原清衡)
- ・平等院鳳凰堂(定朝、藤原頼通)
- ・薬師寺東塔(現在、約110年ぶりの解体修理が行われている)
- ・弾琴美人(鈴木春信)
- ・東大寺不空羂索観音像
- ・観心寺如意輪観音像
- ・円覚寺舍利殿(禅宗様)
- ・薬師寺薬師三尊像
- ・富貴寺大堂(大分県)
- ・修学院離宮(後水尾天皇)
- ・桂離宮
- ・興福寺阿修羅像
- ・三十三間堂
- ・臼杵磨崖仏(大分県)
- ・東大寺執金剛神像
- ・竜安寺石庭
- ・紅白梅図屏風(尾形光琳)
- ・法隆寺金堂壁画(白鳳文化)

<その他の重要事項(2)> (人物問題に出題される可能性のあるもの)

- ・伊能忠敬(大日本沿海輿地全図)
- ・鴨長明(方丈記)
- ・二葉亭四迷(浮雲)
- ・間宮林蔵(樺太が島であることを確認)
- ・藤原基経(臣下として最初の関白)
- ・岩崎弥太郎(三菱商会)
- ・桂庵玄樹(薩南学派)
- ・後龜山天皇(南朝最後の天皇)
- ・坂本龍馬(薩長連合)
- ・林羅山(江戸前期の朱子学者。上野忍岡に家塾を開く)
- ・森有礼(日本初代の文部大臣)
- ・高杉晋作(松下村塾で学んだ長州藩士。奇兵隊を組織。功山寺挙兵)
- ・伊達政宗(支倉常長を欧州に派遣)